

# 緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.200

発行: 令和5年2月1日

## 講習会のご案内

(お申込み・受付は前月の21日から)

### 「フラワーアレンジメントづくり」

とき 令和5年3月5日(日) **2,000円**

午後1:00~3:00 定員10名

講師 マミフラワーデザインスクール

専任講師 澤沼 雅子さん



緑のセンター「学習室」と「展示コーナー」のご利用方法について  
緑のセンターでは、「緑の学習室」と「展示コーナー」を開放しております。  
緑や植物、公園を舞台としたサークル活動や、作品発表の場としてご利用ください。ご利用の条件がありますので、申込み/問い合わせは  
緑のセンター ☎ 0166-65-5553へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況などによって中止、または、内容を変更させていただくことがあります。あらかじめ、ご了承くださいませよう、お願いいたします。

## 桜の剪定枝無料配布のお知らせ

市内公園の樹木管理作業で、不要になった桜の剪定枝を、初春の切り花として楽しんでもらえるよう、**無償**で配布します。応募方法：通常はがき「**桜の剪定枝希望**」と記入し、郵便番号、ご住所、お名前を記入の上、**宛先：〒078-8327 旭川市神楽岡公園 1 番 旭川市緑のセンター宛**に郵送ください。**お一人様1枚とさせていただきます** **2枚目以降は無効になります** ※応募多数の場合は抽選。発表は**当選者のみに、はがきで通知**します。  
応募締切：**2月9日(木) 当日消印有効**

### 神楽岡公園 歩くスキーコースの開場日

開設期間：**2023年2月末日まで**

受付時間：**午前10時~午後4時まで**

休館日：**毎週月曜日(コース状況などは、緑のセンターにご確認ください)**



2022年4月から、ツイッターを始めました！  
神楽岡公園や緑のセンター(温室)等の情報を投稿しています！  
旭川市公園緑地協会ホームページから、**ツイッター**→神楽岡公園緑のセンターをクリックしてね！

## 展示会のご案内

「神楽岡公園の自然写真展」 \* 2023年1月7日(土)~2月26日(日) \* 作品提供:阿久津 弘明 さん

### 【休館日のお知らせ】

4月~10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月~3月は毎週月曜日が休館日です。( " )

## 温室のご案内

午前9時~無料で、ご覧いただけます 🌸  
2月は、コチョウランをはじめ、3月頃は、アマリリスや見頃の花も観賞OK!



## 2月の園芸作業

### 1、鉢花・草花・球根類

- **カンシラン**の花茎が葉の間から見えたら15～20℃の部屋に置き、水も与え花茎を伸ばします。
- **シクラメン**の花をより長く楽しむためには、25℃以上の高温と水不足にならないように注意し、液肥を与えて体力維持に努めます。
- **ポインセチア**も長く楽しむためには、室温は20～25℃(夜間 15～17℃)の日当たりの良い場所に置き、2000倍ほどの液肥を与え、水管理には注意しましょう。
- **アマリリス**の球根は開花予定の35～45日前位に植え替えを行いましょう。新しい草花用培用土を使い、球根直径の2培サイズの鉢に球根の首が出る浅植えにします。
- **アザレア**の開花株は15℃程度の部屋の窓辺に置き、鉢土の表面がうっすらと乾いたら、たっぷり水やりをします。開花後は涼しい部屋に置くと花が長持ちします。

### 2 庭木・果樹類

- 樹冠や枝に積もった雪は払い落とします。**ツバキ**、**サザンカ**の鉢植えは-5℃以下にならない寒いところに置きます。

### 3 観葉植物類

- 茎、葉に水を霧吹きすると良いでしょう。
- **ゴムの木類**などは浴室のシャワーで、葉の汚れを洗い落とします。
- **ポトス**などのつる性の種類は、一定の温度が取れて成長しているものは伸びすぎたつるを切り詰めます。

### 4 多肉植物・サボテン類

- **ミドリノスズ**、**サクララン**などは用土の乾きに注意します。



## 3月の園芸作業

### 1 鉢花・草花・球根類

- **フリムラ類**は20℃以上の高温を避け、2,000倍に薄めた液肥を定期的に与えます。
- **ゼラニウム**、**ハイビスカス**等は切り戻し剪定を行い、新芽を発生させて草姿を整え花付きを良くするようにしましょう。
- **インパチェンス**、**ペチュニア**などの多年草類は室内で植え替えをします。
- **花壇用草花**(**ベコニア**、**ペチュニア**、**コリウス**、**マリーゴールド**)の育苗も中・下旬頃より開始します。ピートバンを用いては種し、ポリ鉢またはプラグトレイへ移植して50～60日間の育苗となります。

### 2 庭木・果樹類

- 積もった雪が雪解け時に沈み、**ツツジ**などの低木は枝折れ、幹折れなどの被害が出ます。株の周りの除雪をして防ぎます。
- **キョウチクトウ**、**ノボタン**など室内の窓辺で管理してきた花木は伸びた枝の剪定をします。
- **果樹類**では3月に入ると寒さも和らぎ、凍害の恐れも少なくなり、**ナシ**、**リンゴ**、**オウトウ**、**スモモ**等の剪定時期となります(ブドウは秋実施)。樹の大きさを制限し着果を良くし、摘果・収穫等の作業をしやすくし、品質の良い果実を安定して収穫するため大切な作業です。

### 3 観葉植物類

- 日当たりの良い場所に置かれているものは、新葉の展開も目立ってきます。生育に合わせ灌水・施肥の回数も増やしましょう。
- 葉がべとつき、光るようになるとカイガラムシ等が繁殖しています。植物に傷をつけないよう歯ブラシや布等で拭きとりましょう。

### 4 多肉植物・サボテン類

- **エケベリア**、**ユーフォルビア**などは生育状況を見ながら水やりを控え目に育てます。植え替えのできる種類も多くなります。

# 植物の病害虫

## その71 らくようかじゆ えつとうびょうがいちゆう 落葉果樹の越冬病害虫

- 1 落葉果樹の越冬病害虫には、カイガラムシ類、ハダニ類、ふくろみ病、縮葉病しゆくようびょうなどがあります。
- 2 被害の発生は、果樹の種類によって発芽期～生育期～収穫期にまで及ぶものもあります。下の写真は、毎年緑のセンターに問合せの多い「ブドウハモグリダニ」による被害葉です。
- 3 防除法… 落葉果樹には、発芽前の3月下旬に石灰硫黄合剤を7～10 倍に希釈し、必ず展着剤を加えて、たっぷりと散布します。「おうとう」のカイガラムシ類、ハダニ類。「すもも」のカイガラムシ類、ハダニ類、ふくろみ病。「りんご」「なし」「もも」の黒星病くろぼしびょうなど、越冬病害虫に防除効果があります。

石灰硫黄合剤せっかいいおうごうざいは普通物ですが、散布すると硫黄の強烈な臭いがしますので、散布は風がない朝方に行うようにしてください。また、強アルカリ性なので、自動車や壁に散布液がかからないように注意することも必要です。

使用した噴霧器ふんむきや、その他の器具も腐蝕ふしよくしやすくなるので、散布後は十分洗淨せんじようして下さい。越冬病害虫に対して効果が高い薬剤ですが、強アルカリ性なので散布する人の皮膚ひふを害することもあります。取り扱いの際には十分注意をお願いします。

ブドウハモグリダニの被害



コブが葉表に突出する



葉裏の凹は毛せん状

## ちょっと楽しい講座のご紹介

### 緑の講習会「洋ランを木片で育てる講習会」から



樹木に張り付いて生き続けるランは、自然界しぜんかいでは木や岩などに露出ろしゅつした根を張りつけて身体を保持し、空気中から水分や養分を吸収して生活しています。

本講座は、洋ランが自生している状態に最も近い「通」な楽しみ方として、ミニカトレアを木片もくへんに張りつけて着生させて楽しみます。本講座は5月下旬、カトレアの生長にとって好適こうてきな時期に実施しました。準備したのは1人あたり、ミニカトレア1鉢はち、ランを張りつける木片、木片に穴を空けるための電動ドリルや作業工具、株を固定するための針金やテグス、木片を吊すためのフックなどです。2時間の講座でしたが、プロ顔負けに美しくできた方や、講師に手伝っていただきながら、満足できる作品ができた方などさまざまでしたが、1か月後には新根しんこんがでて木片に根が這うようになります。それまでは霧吹きなどで葉水はみずを与えること、根が活着かつちやくしたあとの管理の仕方をしっかり教わって講座を終了しました。開花した作品をご覧ください。





## セントポーリア を楽しむ

1970～1980年代の旭川では、多くの家庭でセントポーリアの花を咲かせていました。

ブームになったきっかけは、ほかの室内花とは違って、①夏場の高温期を除き、栽培温度が18～25℃を維持できれば1年中、花を咲かせられる。

②原産地では石灰岩の割れ目に堆積したわずかな

土に根を張って育つ植物でもあり、小さな鉢や少ない土でも栽培が可能。③強い日差しが苦手です。やわらかい光が好き。日照時間が短くなったり、自然光が入らない部屋の場合は、植物育成用のLEDライトや蛍光灯を利用すれば、美しい花を咲かせることができます。などです。府県の生産量低下もあってブームの時間が過ぎたものの、セントポーリアの魅力は今も変わりません。

### セントポーリアを新しく入手したら…

セントポーリアは小さな鉢で育てるので、すぐに用土が目詰まりしたり、酸化して老廃物が溜まったりして生育に悪影響が出やすいことから1年に2回、春と秋に植え替えます。用土は市販されているセントポーリア専用の培養土を使用すると便利です。新たな株は我が家の環境になじむまで植え替えは少し待つ方がいいようです。

○ **管理のコツは…**①-日光不足にさせない。②-水やりは、鉢の大きさや置き場所によって異なりますが3～4日を目安に少量ずつではなく鉢の底穴から流れ出るまでたっぷり。受け皿に水は溜めない。③-鉢土に水が溜まるようではダメ。植え替えが必要。④-茎上りしないように上根を活かし、植え替え時に下茎を処理する。

○ **肥料は…**植え替え直後は与えない。春と秋には3,000倍に薄めた液肥を水やり代わりに与える。

○ **増やし方…**葉挿し、わき芽挿しで殖やすことができる。最低温度18～20℃に保てればいつでも可能。

## 展示室の植物 (106)

### パフィオペディラム 'スピセリアナム'



学名:Paphiopedilum spicerianum ラン科 パフィオペディラム属  
ガマガエルか、鳥の顔に似たユニークな花姿を見ていると楽しくなる冬の緑のセンター温室の人気者。花径は7cmほど程で、東南アジア原産のランで、スピセリアナム種の原種です。

ポピュラーなカトレアやコチョウランのような着生ランとは一味違うのがパフィオの魅力で、湿度が保たれた環境に自生していることから光・温度・湿度・水分管理に配慮が必要です。

形や色のバラエティも多く、圧倒的なその存在感に気づいてしまったら、はまってしまう人も少なくありません。